

議会だより

第18号



春の全国交通安全運動（4月6日）
日野町役場から東近江警察署管内の
パトロールに出発する様子

INDEX

令和4年度一般会計予算・補正予算	p.2~3
委員会からの報告	p.4~6
12議員 一般質問に立つ	p.7~19
小学6年生が描くまちの未来	p.22

滋賀県日野町議会 令和4年3月定例会号（令和4年5月15日発行）

3月議会

3月1日から28日に
開催された定例会および
2月2日に開催された
臨時議会の結果を
お知らせします。



日野菜のPRキャラクター
あのなひのな

予算特別委員会での討論

3月14・15・16日の3日間、予算特別委員会が開催され審査を行いました。新型コロナウイルス感染症対策が継続され、国の地方創生交付金を活用した「わたむき自動車プロジェクト」や官民共創によるシステム開発や、デジタル田園都市構想交付金によるサテライトオフィス補助など、まちの将来発展と持続可能を両立させる施策が多くあり、過去最大規模の予算編成となりました。先行き不透明感が増す中、財政状況と各施策の執行状況をしっかり見極め、評価していくことが議会の役目だと捉えています。

そういった状況の中において、一般会計予算について、反対討論1件、賛成討論1件が出されたのでその内容を記載します。討論後の採決では、賛成多数で「原案どおり可決すべきもの」と決定し、3月議会の最終日（3月28日）に議決しました。

反対討論 加藤委員

1点目は、人事管理事業です。国主導で自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）を粛々と進められることにより、自治体の持つ膨大な個人情報の不用意な流出、企業活動のために利用されることが懸念されます。また、システムの一元化によって、個々の自治体で培ってきた独自施策がなくなり、地方自治の精神が失われることも懸念され、賛成できません。

2点目は小学校遠距離通学助成事業です。事業自体は保護者の負担を無償化することで望ましいと思われそうですが、助成対象が一定距離以上の全ての方ではなく、実証実験として令和3年度から引き続き、同じ特定の地域に限られ、不公平が伴う点から反対します。

賛成討論 後藤委員

1点目の人事管理事業について、個人情報流出懸念は、自治体が低いセキュリティーで情報管理することの方が問題であり、高いセキュリティーを備えたシステムに一元化することが安心につながると考えます。また、自治体の独自性は、少子高齢化が進む一方、住民サービスが増える中で、限られた職員体制で施策を行うには、効率化を図る方法としてデジタル化は必要です。

2点目は小学校遠距離通学助成事業について、公平性の考え方は様々あると思いますが、今回実証実験というスタートに立つものであり、今後の検証によってより良い事業にされるものだと考えます。スタートラインに立てなければ何も試すことができず、委縮し未来が見通せません。これらの事業は問題ないと考え、賛成します。

令和3年度一般会計補正予算(第10号) 全会一致で可決

3月議会において、年度末による各事業の経費の精算をはじめ、必要性の高い事業および基金への積立てが主なもので、以下の通りです。

道路メンテナンス補助事業	900万円	財政調整基金積立金	8,906万8千円
社会資本整備総合交付金事業	4,996万6千円	情報システム整備基金積立金	6,000万円
同上(防災・安全)	2,600万円	まちづくり応援基金積立金	2,760万4千円
農地耕作条件改善事業	1,225万8千円	子育て未来基金積立金	1億7,000万円
		教育施設整備資金積立基金積立金	5,209万1千円

令和4年度一般会計補正予算(第1号) 全会一致で可決

令和4年3月7日、日野町職員が官製談合防止法違反及び公契約関係競売入札妨害の容疑により、滋賀県警察に逮捕されました。このことに関し当局から事件の説明があり、また当該職員の処分について、第三者検証会議を立ち上げ再発防止策を検討するとの説明でした。これに係る経費として、令和4年度一般会計補正予算(第1号)が3月議会に提案され、全員一致で可決しました。

○歳入予算額	財政調整基金繰入金の増額補正	60万3千円
○歳出予算額	人事管理事業(職員の綱紀保持を図るための職員研修)	24万円
	第三者検証会議設置運営事業(事件の究明と再発防止対策)	36万3千円

予算特別委員会

令和4年度

一般会計当初予算賛成多数で可決

3月
定例会

社会保障費関係費が増えている中 地方創生に係る施策を積極的に起用

過去最大規模の予算編成 歳入、町税増収を見込む 歳出、商工費土木費の増
一般会計予算 95億6,800万円 前年度比較6億5,600万円増(+7.4%)

主な事業と予算

日野町コミュニティバス運行対策補助金
(町営バス運行)

4,936万円



予防接種事業
(一般ワクチン・新型コロナウイルスワクチン)

1億2,692万円



保育所・認定こども園費
(認可保育所運営負担金・補助金を含む)

2億9,178万円



大谷公園野球場改修工事
(令和4年7月着工予定)

1億2,000万円



予算特別委員会での質疑応答

Q コロナ禍での町税の状況はどうか。

A 町税は、令和4年度の当初予算を前年度と比較すると約1億6千万円の増となっているが、コロナ禍前の令和2年度と比較すると約1億円の減収となり、平年ベースに戻ったとは言えない。

Q デジタル田園都市国家構想推進交付金でのマッチングイベントは、どのように実施するのか。

A マッチングイベントは、日野商人ルーツの北関東の事業者を招いてサミットを開催し、サテライトオフィスにつながる提案ができないか考えている。

Q 防災対策に関連し、避難所となる公民館が停電した場合の発電機は確保できているのか。

A 災害時の発電機は公民館には置いていないが役場防災センター備蓄倉庫で確保している。7館分はないので早期に確保する必要があると考えている。

Q 小学校遠距離通学助成事業の意味と、わたむき自動車プロジェクト実証実験の進め方を聞きたい。

A バス通学費用の負担をなくすことについて以前から保護者の要望があり、令和4年度から無償化を進める。わたむき自動車プロジェクトのスクールバス実証実験は湖南サンライズで予定していて、路線バス化の検討も視野に入れながら進める。

総務常任委員会

付託議案の主な審議内容

●日野町情報システム整備基金条例の制定について

- Q 毎年6,000万円を積み立てるのか？DXで全てのシステムが標準化するとコスト削減につながるのか？
A 5年更新で総額3億4,000万円を想定し、毎年6,000万円を積み立てる計画。標準化できない事業もあり、当面は6町クラウドや町独自システム等での対応も続く。

●日野町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

- Q 育児休業に係る制度の内容は？休業取得者の在籍職場への人材対応はどのようにするのか？
A 子育てハンドブックで制度の案内をする。休業された職場へは会計年度任用職員での補充を考えている。

●日野町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

- Q ベテランの消防団OBが機能別団員として配置されると心強い。全地区への配置を望む。報酬が上がるのは望ましいことだが、上げ幅は適切なのか？コロナ禍での訓練不足は生じていないか？
A 機能別団員の全地区配置は難しい。報酬は周辺市町を含め概ね交付税基準の36,500円となる。コロナ禍によりこの2年間ポンプ操法大会は中止になっているが、ポンプ操作訓練等は行っている。

●日野町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について

●令和4年度日野町西山財産区会計予算

付託議案の採決

反対討論は無く一括採決 → 全委員一致にて全議案を可決すべきものと決しました



産業建設常任委員会

付託議案の主な審議内容

●町道の路線の変更について

●日野町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定について

- Q 地区整備計画区域とは何か？地区により違った基準、制限があるのか？
A 建築物に対して制限を課すところになる。制限は地区により市街化区域、市街化調整区域の違いがある内池については市街化調整区域にあるので隣接の用途地域を踏襲し容積率、建蔽率を決めている。

●令和3年度日野町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

- Q 繰越明許費170万円となった理由は何か？
A 佐久良・奥之池処理場の動力制御盤の改良工事である。先の遠隔監視装置の更新工事が半導体部品納入の遅れにより関連する動力制御盤の工事遅れのため繰越を行った。8月末に工事完了予定である。

●令和4年度日野町農業集落排水事業特別会計予算

●令和4年度日野町下水道事業会計予算

付託議案の採決

反対討論は無く一括採決 → 全委員一致にて全議案を可決すべきものと決しました



請願審査

●名神名阪連絡道路建設についての請願書

- 継続審査意見 ルート計画が決定されていない中、不安な要素があるので継続審査を提案する。
賛成意見 1日も早く建設を進めることを町議会から国に言ってほしいとする請願である。

採決の結果 → 賛成多数にて請願書は採択すべきものと決しました

厚生常任委員会

付託議案の主な審議内容

- **日野町子育て未来基金条例の制定について** 子育て支援にかかる施設の計画的な整備および子どもを安心して育てることができる施策の充実を図るための基金。
- **令和3年度日野町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）** 保険給付費の実績見込み等に伴い、減額補正を行うとともに、国保財政調整基金積立金を増額補正するもの。
- **令和3年度日野町介護保険特別会計補正予算（第3号）** 保険給付費の実績見込みに伴い減額補正を行うとともに、介護給付費準備基金積立金を増額補正するもの。
- **令和3年度日野町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）** 精算により、増額補正。
- **令和4年度日野町国民健康保険特別会計予算**
新年度予算21億7,700万円と前年度より700万円の増額予算となった。
- **令和4年度日野町簡易水道特別会計予算**
前年度より1,917万2千円増の3,235万2千円。主な増額要因は、水道事業会計に企業会計として統合移行に向けた委託料、濾過施設の濁度計の更新工事費など。
- **令和4年度日野町介護保険特別会計予算** 前年度より9,855万6千円増の23億5,137万4千円。
- **令和4年度日野町後期高齢者医療特別会計予算** 前年度より2,500万円増の3億400万円。
- **令和4年度日野町水道事業会計予算** 前年度より7,995万円減の9億5,219万8千円。主な減額要因は、工事完了等、排水設備工事の減である。

国保・介護・後期高齢者医療については、4年度から徐々に団塊の世代の方が高齢者になる中で、社会保障関係は今後伸び続け、厳しい予算編成になるであろう。高齢者がピークを迎える2040問題の課題解決に向けての議論が交わされた。

付託議案の採決

反対討論は無く一括採決 → 全委員一致にて全議案を可決すべきものと決しました



ことばのまめ知識

議会だよりの文中に、難しい言葉や行政用語があります。より理解を深めていただくために、分かりやすく解説します。

補正予算（P-2）

年度の途中で状況の変化や自然災害などで新しい事態が発生した場合にも臨機応変に対応していくことが重要です。町では仕事の計画を一部変更したり追加したりし、同時に予算を見直すことになります。このことを言います。

デジタル田園都市国家構想推進交付金（P-2、3、6）

デジタル技術の活用により、地域の個性を生かしながら地方を活性化させ、持続可能な経済社会を目指すため、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けて国が交付金により支援するものです。



基金積立金（P-2、4、5）

特定の目的のために資金を積み立てる基金のことで、今回3月議会において新たに情報システム整備基金と子育て未来基金が設立されました。双方とも将来にわたり安定的な運用、整備に役立つもので、早くから積み立てを行うものです。

DX（デジタルトランスフォーメーション）（P-2、4、6）

データやデジタル技術を活用し浸透させることによって、人々の生活をより良いものにしていくこと、変革していくことを言います。

機能別団員（P-4）

消防団員のなり手不足および機動性を高めるために、今年度より機能別団員を設けました。消防団OBの方から人選できることとし、特定の消防職務に従事する団員を言います。

地方創生特別委員会

調査・研究

令和4年度の地方創生推進交付金事業(事業費の50%が国庫補助)

国の地方創生交付金(事業費の50%が交付)を活用し、だれもが利用しやすい公共交通体系の構築、環境負荷の軽減、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進を目指した取り組みで具体的な内容を確認しました。

- 1) わたむき自動車プロジェクト 6,670万円(プロジェクト総額は1億600万円)
- 2) ちょっと工夫でエコロジーなまちづくり 460万円
- 3) 「日野町版DX」で築く地域経済活性化と関係人口拡大 980万円
- 4) 異業種との出会いが育む新たな観光推進事業 1,590万円
- 5) 「徒歩と自転車、公共交通で楽しくまわれる」
マイクロツーリズム推進事業 1,320万円
- 6) 風と人と土の人がつながるプロジェクト 1,240万円
- 7) 滋賀県移住就業支援事業 160万円



好評であった通学バス実証実験
わたむき自動車プロジェクト

新しくデジタル田園都市国家構想推進交付金事業

(事業費の75%が国庫補助)

テレワークやリモートワーク等の需要が高まる中、国の交付金を活用し、町内の空き家等を活用したサテライトオフィス設置補助、マッチングイベントとして「近江日野商人サミット」等を実施し、企業進出推進や関係人口拡大を図る取り組みを確認しました。

- 1) サテライトオフィスを活用した「現代の近江日野商人」推進事業 2,250万円



テレワークで会議

議会改革特別委員会

～議員間討議から方向性を導き出す
「話し合い、提案する、積極的な議会」～

「議会デジタル活用実証実験実施決定」

<実証実験の目的>

議会活動機能強化のためのデジタル活用による効果、その際の課題抽出

<具体的な方法>

ノートパソコンとGoogleWorkSpaceを運用する

<実施期間>

半年間を予定(以後要協議)

<期待される効果>

行政・議会の効率化だけでなく、地域の課題解決への派生効果が期待される

「議員の“なりて不足”解消へむけて-その③-」

<参考資料>

全国町村議会議長会が、議員報酬の見直し及び政務活動費の活用に関して、報告書を取りまとめ公表した「議員報酬・政務活動費の充実に向けた論点と手続き～住民福祉の向上を実現する町村議会のための条件整備～」令和4年2月24日

<http://www.nactva.gr.jp/html/research/utilization.html>

<今後の方向性>

議会活動+報酬「日野モデル」を作成へ



令和4年3月

町議会定例会における 一般質問内容および質問順序

発言順序・氏名	質問内容	
1 山田 人志	1 中心商業地について（平和堂跡地と周辺地区） 2 人口減少対策の最優先事項	P. 8
2 高橋 源三郎	① コロナワクチン接種後の副反応調査について ② 職員の定年退職者の再任用について 3 上水道事業の経費節減について	P. 9
3 奥平 英雄	1 スケートボード練習場の設置の検討を 2 日野小学校通学路整備と自転車マナーの指導を	P.10
4 西澤 正治	1 これからの農業、県や町の支援策は 2 町内天然記念物の保全に力をそそいで	P.11
5 後藤 勇樹	1 ひとり親家庭の日野町への移住支援策を 2 集落の枠を超えた営農組織育成の時代では	P.12
6 中西 佳子	1 子育て支援の拡充について 2 町の交通安全対策について	P.13
7 加藤 和幸	1 卒業後、町内居住で返還免除型奨学金を 2 米価下落対策と日野町農業の将来展望	P.14
8 谷 成隆	1 必佐小学校の通学安全、防災、周辺整備は？	P.15
9 山本 秀喜	1 新型コロナウイルス感染 オミクロン株への対応について 2 町の入札に関するコンプライアンスについて ③ わたむき自動車プロジェクト、実証実験結果は？ ④ 幼稚園は定員未達、保育所は定員オーバー？	P.16
10 野矢 貴之	1 「自然の恵み」を地域資源にできないか？ 2 河川や森林を資源とした季節の自然遊びを	P.17
11 齋藤 光弘	1 公平公正な行政執行を 2 小学校の教科担任制導入は	P.18
12 池元 法子	1 放射能汚染から住民を守れる町へ 2 内池地区住宅開発はモデルになる地区計画に	P.19

議会だよりでは、3つ以上一般質問がある場合、
スペースの関係で○のついた番号の質問と答弁を掲載しています。

本会議の様様をインターネットで配信しています。
(ライブ中継・録画中継)



上のQRコードを読み取ると
一般質問の録画が視聴できます。





問 中心商業地について (平和堂跡地と周辺地区)

答 新たな発想の商業地を地域と一緒に創りたい



山田 人志 議員

日野ギンザ商店街など今後の中心商業地のあり方と平和堂跡地の関連について聞きました。

問 中心商業地に期待する機能は何か。

答 高齢化のなかでの暮らしやすさや安心安全、人間関係で住民を支えるなどが期待する機能である。

問 ギンザ街の街路灯が消えるかもしれない状況はどう思うか。

答 商店街の時代が終わるのではなく、転換点ととらえ、時代の変化に対応したまちを地域と一緒に創っていきたい。

問 町で取得しているただいた平和堂日野店跡地の周辺はどのような地区であれば良いか。

答 暮らしを支える機能やまちなみの

問 人口減少対策の最優先事項

答 女性の就業機会と自己実現を応援する施策が必要と考える

問 地方の人口減少の根本は、20代前半の女性が消えていることであるという分析に対し、日野町のデータはどうか、一問一答方式で確認しました。

問 総人口は女性のほうが多いと思いがちであるが、実際にはどうなのか。

答 日野町の総人口では男性の方が多く、75歳以上だけで女性の方が多くなる。

問 日野町人口ピジョンで、男性はやや転入超過に対し、女性が増えていること、直近の傾向はどうか。

可能性が新たな発想で実現できる地区になれば良いと思う。

答 直近5年間で、女性の転入超過がさらに進んでいる。

問 全国データでは、人口減少の年齢ゾーンは10代後半から20代後半までで20代前半がとくに多く、さらに男女別では女性の減少の方が多いとのことであるが、日野町の男女別・年齢別の人口動態を教えてください。

答 男性は、20代は増加で、30代で減少するが40代前半と50代後半で増加している。女性は40代前半と50代後半での増加はあるものの20代前半をピークに若年層の減少が顕著である。

また、男女とも子ども人口は増えている。

問 全国統計では、成婚ピーク年齢は男女とも20代後半であるが、日野町のデータがあれば確認したい。

答 日野町独自のデータはないが、滋賀県のデータでは成婚ピーク年齢はやはり男女とも20代後半となっている。

問 ここまでのデータと10代後半は進学、20代前半は就職、20代後半は結婚のタイミングであることを重ね合わせると、20代前半の就職のタイミングに日野町から女性が消えている。そうであるなら、人口減少対策の最優先事項は女性の労働市場の開拓のように思うが、日野町で女性の働く機会は十分に提供されているのか。

女性が増えることでそれぞれの生き方をどう形成するか、どういう人生を送るかを考えて就職先を選ぶのから、町内での選択肢は少ない。

問 女性の就業機会の選択肢を増やすとともに、地元で働こうという気持ちになる動機づけが必要である。「日野町くらし安心ひとづくり総合戦略」は人口減少対策のために策定されたが、該当するような政策・施策は書かれているのか。

答 「くらし安心ひとづくり総合戦略」では、雇用促進の視点での施策やコミュニケーションなど、人生設計を応援する施策が必要ではないかと考えている。

女性が増えることでそれぞれの生き方をどう形成するか、どういう人生を送るかを考えて就職先を選ぶのから、町内での選択肢は少ない。

問 コロナワクチン接種後の副反応調査について

答 副反応のアンケート調査は実施が困難な状況



高橋 源三郎 議員

問

新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株が第6波として猛威を振るっている。国内でも連日数万人が感染し、政府は3回目のワクチン接種を推進している。日野町でも2月から3回目のワクチン接種が実施されている。この3回目はモデルナ社のワクチンが加わったが、ファイザー社とモデルナ社とは副反応に違いがあるという。NHKニュースでも2社のワクチンの副反応の状況の違いが報道された(表①)。日野町民の中でもワクチンで心身に副反応が出て、生活に支障が出た人が何割かおられるのでは。

そこで質問です。町民の2社のワクチン接種の希望者比率と接種後の結果比率はどうか。また接種した人の副反応の状況を町は把握しているのか。さらに町職員の中でも副反応が出た人がいるのでは。それゆえ、ワクチン接

【表①】
ワクチン接種による副反応の状況
(NHKニュースより)

メーカー	発熱	倦怠感	頭痛	分析数
ファイザー社	21.4%	69.1%	55.0%	2,626人
モデルナ社	49.2%	78.0%	69.6%	437人
モデルナ/ファイザー	2.3倍	1.1倍	1.3倍	6.0倍

答

ワクチンの2社の接種希望比率は調査していない。また、2月のワクチン集団接種の結果はファイザー社製が64%、武田/モデルナ社製が36%となっている。

副反応については「健康被害救済制度」を申請された方が2名あり、内1名は認定され給付決定した。もう1名は「日野町予防接種健康被害調査委員会」で審議いただいた。また町職員については発熱・腕の痛み・倦怠感等があった人がいた。アンケート調査については実施も公表も困難な状況。

問 職員の定年退職者の再任用について

答 これまでに、再任用制度の運用実績はない

問

平成13年(2001年)から公務員の定年退職者の「再任用制度」が実施され、滋賀県下でも県庁はじめ各市町において取り組みが行われている。そして60歳定年から65歳定年へと定年年齢が5年延びてきており、これに従う民間企業や事業所、官公庁等が年々増えてきている。また、年金も65歳からとなってきたため60歳で定年退職した場合、5年間の空白(無年金)期間が生じる。しかし、この5年間は体力的にも知力的にも元気な人は多く、働いて老後のために貯蓄したいと考える人が多いことも事実です。

そこで質問です。当町職員も定年退職者の「再任用制度」の運用をされているのかどうか。さらには、令和4年度

答

日野町において職員の「再任用制度」は整備しているが、その運用実績はない。また定年延長については令和5年4月1日に本格施行される地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴い、当町でも「定年延長制度」の導入に向けて令和4年度に制度設計を行い条例整備も行う。

また、この制度の導入により新規採用者数が抑制され、結果として職員の年齢構成がいびつになるのを避けるため、採用人数の平準化を図るとともに、今後60歳を迎える職員の意思確認を行い、中長期的な視野で人事配置を検討する。

複雑・多様化する行政需要に的確かつ迅速に対応するため、一般の常勤職員および会計年度任用職員の計画的な任用と定年延長制度の活用により、役場全体の組織力の充実に図ることが重要と認識している。

「第2の職場人生を
考えなくちゃ!!」





問 スケートボード練習場の設置の検討を

答 今後は、取り上げていく必要性を感じている



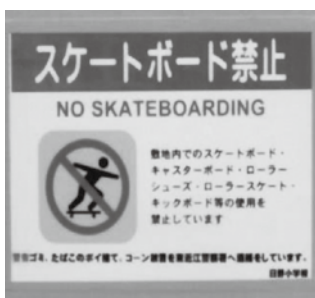
奥平 英雄 議員

問

令和3年の夏季オリンピックで日本代表選手に選ばれた若者がスケートボード競技で金メダルを取る成績を収められました。その影響もあり、各地域の駐車場や道路でスケートボードをする子どもが増え、

日野町警部交番に苦情の電話があると聞きます。練習をする場所がないため日野小学校駐車場等で、スケートボードの練習をする子どもが増えている状況です。このままでは、駐車場での事故も考えられます。町としてスケートボードのできる場所、また、安心して練習ができる施設など考えられないのか。

◀日野小学校駐車場はスケートボード禁止を掲示



◀日野小学校駐車場



答

日野町でも日野小学校駐車場等の空き地において練習している姿を見かけることが多くなっていますが、駐車場等の現在使用目的をもって整備されている場所では、周囲への危険性や騒音等の課題が大きく、専用の練習できる場所が見当たらないのが現状です。町のスポーツ振興の考

問

日野小学校通学路整備と自転車マナーの指導を

答 通学路の安全対策を検討、自転車マナー指導している。将来に向けた道路整備計画を策定する中で検討したい。

問

令和3年4月から12月までの間で自転車事故と小学生児童と自動車絡む事故が8件あったとのこと。町当局に通学路の安全対策を求めました。自転車マナーについては、左側走行にもかかわらず右側を走行される人が多いことから、マナーの指導を求めました。



◀松尾地先の通学路マーク

答

①事故のあった場所を通学している児童に具体的な指導を実施するとともに、保護者の方々のご意見も聴取した。現在のところは防犯上の理由などにより、通学路の変更は行っていないが、PTAからの要望を伺い、安全対策を検討したい。

②町道大窪内池線のひばり野から里口地先の道路段差解消については、将来に向けた道路整備計画を策定する中で対



◀町道大窪内池線の通学路にグリーンベルト設置を要望

応を検討したい。

③小学校では交通安全教室を定期的実施しています。中学校では自転車の安全運転に関する映像を視聴するなどして、交通マナーと安全運転に関する指導を行っています。高校生については、高校関係者との協議の機会に自転車通学マナーの指導を伝えていきたい。

問 これからの農業、県や町の支援策は

答 県や関係機関と共に議論しながら支援していきたい



西澤 正治 議員

問

鎌掛地区では農業の後継者問題などを踏まえ、農業組合長さんらが農地所有者、耕作農家へのアンケートを実施された。また国の将来ビジョンでは担い手のあるべき姿や望ましい農業構造を示している。県や町は地域農業への支援策はどのように考えているか伺う。

鎌掛地区では農業の後継者問題などを踏まえ、農業組合長さんらが農地所有者、耕作農家へのアンケートを実施された。また国の将来ビジョンでは担い手のあるべき姿や望ましい農業構造を示している。県や町は地域農業への支援策はどのように考えているか伺う。

答

地域農業を考えた時、直接的に支える人材の不足は全国的に深刻な問題で、儲かる農業経営に向け、担い手の農地を集積・集約すると共に、営農組織の企業の経営を推進してきた。

地域農業を考えた時、直接的に支える人材の不足は全国的に深刻な問題で、儲かる農業経営に向け、担い手の農地を集積・集約すると共に、営農組織の企業の経営を推進してきた。

基盤となる農地保全には、世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策や、中山間地直接支払制度を進めてきたが、それでも当町のような耕作不利益を多く抱える地域では厳しい。国では新たに家族経営や兼業農家など多様な担い手を対象に、農業の持続的な発展を推進すると示された。町としては子どもから大人のすべての世代が農業について学び、支え、関わり、そ野を広げ、地域農業の維持に努めていきたい。様々な農業スタイルが各

基盤となる農地保全には、世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策や、中山間地直接支払制度を進めてきたが、それでも当町のような耕作不利益を多く抱える地域では厳しい。国では新たに家族経営や兼業農家など多様な担い手を対象に、農業の持続的な発展を推進すると示された。町としては子どもから大人のすべての世代が農業について学び、支え、関わり、そ野を広げ、地域農業の維持に努めていきたい。様々な農業スタイルが各



中山間地が多く管理も大変な日野町の農業継続に向け、しっかりとした支援が求められる

問 町内天然記念物の保全に力をそそいで

答 文化財保護法で現状変更は難しいが、今後研究していく



鎌掛の屏風岩（2019年撮影）



倒木前の熊野のヒダリマキガヤ（2019年撮影）

問

日野町内には県内でも有数の5つの天然記念物があり、中でも鎌掛にある石楠花と屏風岩の2つの天然記念物は集落の誇りとなっている。ところが、住民が手を加えることができない天然記念物に、雑木や雑草が繁茂している。また熊野のヒダリマキ

日野町内には県内でも有数の5つの天然記念物があり、中でも鎌掛にある石楠花と屏風岩の2つの天然記念物は集落の誇りとなっている。ところが、住民が手を加えることができない天然記念物に、雑木や雑草が繁茂している。また熊野のヒダリマキ

答

屏風岩が雑木、雑草、土砂等で外観が見え辛いことは承知しているが、現状変更には文化財保護法による手続きが必要で、国・県からは容易に手を加えないよう指導を受けている。今後文化財の保護と共に観光振興に役立つよう研究していく。

問 ひとり親家庭の日野町への移住支援策を

答 移住支援に限らず多様なニーズへの対応を検討したい



後藤 勇樹 議員

問

近年、生活費が安く、環境の良い

地方のまちでの子育てを望むひとり親家庭が増加しており、先進地ではひとり親地方移住支援ネットワーク会議」という広域連携組織に加盟する自治体もあります。そのようなひとり親家庭のニーズと、保育士や介護士等の人材不足に悩む当町の課題解決をつなげる移住支援策を立案できないものでしょうか。

答

(子ども支援課) 議員より事前に

いただいた資料にあるように、保育園から高校までの子育て環境や仕事、住居紹介などを一括で案内できる、子育て相談のワンストップ体制の構築等で、移住定住支援につながるなど、参考になる提案をいただきました。ひとり親家庭に限らず、子育て世帯に移住を考えてもらえる様々な政策の実施に取り組んでいきたいと思えます。

日野町への移住支援!



住居紹介



就職あっせん

都会暮らしは便利だけど家賃や物価が高くて・・・



問

答

認定農業者など集落を超えた営農活動も支援していきたい

集落の枠を超えた営農組織育成の時代では

問

小さくて変形した圃場が多い中山間地はコストや労力がかかり収益性が低く、集積化も難しい。加えて過疎化、高齢化も進み、それが後継者不足の要因にもなっています。今後の農業のあり方を考えると、集落の枠にとらわれず、志を同じくする人や、同じ作物を作る人が協力し合える営農組織づくりを行政、JAなどが支援していく体制作りを目指すべきと思いますが、見解を伺います。また、12月議会で提案した木材粉碎機の導入は検討いただいているでしょうか。

答

(産業建設主監)

営農組織のメリットは1人当たりの労力を軽減や、共同で農業機械を購入することで世帯当たりの負担が軽減され、経営の効率化が図れることです。また耕作放棄地を作らない、組織内での交流、文化継承などのメリットもあります。集落営農の取組みから30年以上が経過し、後継者不足が課題となっています。

営農組織は今後、大字の枠を超えて協力し合う時代へと向かいつつあり、JAとともに良い方向に導いていく事が行政の役目だと思っています。また木材粉碎機は、令和4年度の予算にて導入したいと思っています。



▶中山間地のお米は美味しいが法面の草刈り、獣害等で耕作は大変



新年度予算で導入が検討されている木材粉碎機の例

子育て支援の拡充について

優先的に進めていく施策は何なのか慎重に判断



中西 佳子 議員

問

少子化が加速する中で、子育て環境は複雑化、多様化している。子育てへの支援策が重要である。安心して子どもを産み育てられる町として、今後子育て支援の拡充が必要である。

①町の出生数の現状はどうか。

②子育て世帯訪問支援臨時特例事業への取り組みは。

③ヤングケアラーの現状と支援体制は。

④高校生まで医療費助成を拡充する考えは。

答

①令和2年度は144名で、令和3年度は3月1日時点で123名。

②訪問支援員が家事・育児等に不安・負担を抱える子育て世帯、妊産婦等がいる家庭を訪問し、悩み等を傾聴するとともに、家事・育児の支援を実施する。当初予算に計上し事業実施を予定している。

③学校・園での登校園状況や生活環境の変化、福祉機関や地域とのつながりなど実態把握し、

内容により子どもの学習支援や親の福祉サイドへのつなぎなどに努めている。

④滋賀県内19市町で、通院医療費を高校生まで助成をされているのは1町のみ状況です。

安心して子どもを産み、育てられる町としていくために、優先的に進めていく施策は何なのか慎重に判断しなければならぬと考えている。

問

県の方に安全対策を要望、交通状況等説明し相談する

問

国道307号と国道477号の交差点付近には、病院や大型店舗もあり、交通量も多いところ。自動車は勿論のこと自転車や人の歩行も多い場所である。特に477号側は歩道の幅も狭く防護柵もない状態である。早急に安全対策が必要である。

①国道477号側にも車道と歩道間の防護柵等を設置出来ないのか。

②町は安全対策が出来るとお考えなのか。

③横断歩道ではなく、車道の横断は危険であること示す看板や標識などはできないか。

④横断歩道は歩行者優先について、町の啓発の状況は。

答

①現状の交通量から判断すると防護柵設置は難しい。

②県の方に安全対策を要望する上で、混雑している状況等の写真を撮り、説明をし、出来ることからということ、

北側歩道の拡幅や危険箇所については、防護柵やポール設置について相談していきたい。

③車の交通量の状況や歩行者の横断防止の必要性、道路環境の観点から国道477号には、



問 町の交通安全対策について

この標識の設置は難しい。

④春と秋の全国交通安全運動の中で、「横断歩道利用者ファースト運動の推進」を啓発資料により周知している。「広報ひの」に掲載や交通安全運動の期間には、新聞折込など啓発に努めている。



歩道の幅が狭くなる
国道477号(松尾地先)



問 卒業後、町内居住で返還免除型奨学金を

答 県内外の事例を参考に研究を進めてまいりたい



加藤 和幸 議員

問

大学などを卒業後地元を離れる若者や、コロナ禍で困窮する学生が多く報じられています。

守山市では大学など卒業後に市内に居住することを条件とした返還免除型奨学金(月額3万円)制度がこの4月から発足、県内では米原市に次いで2例目です。

以前、私は決算委員会で、日野町の奨学金利用者が少なく、当初予算に比べ執行残が多く現在の町の制度(貸与制)が他の団体などの奨学金に比べ魅力に欠けるのではないかと質問しました。

困窮する学生を支援し、卒業後地元へ帰り地元で働くことを応援する取り組みとして、返還免除型奨学金制度の創設を検討されるよう提案します。

家庭の経済状況にかかわらず、すべての子どもが教育を受けられる環境を整えることは重要です。

答

奨学金制度は学生支援機構の制度があり、それを補完する形で県・市町の制度があります。

二年前に実施の日野高2・3年生アンケートでは給付型を望む声があり、ニーズは貸与型から給付型の制度へ移行しています。

奨学金制度の拡充を実施している市町はまだまだ少ない状況です。現在の制度の周知の徹底に努めつつ、意欲と能力のある学生が経済的理由で就学を断念することがないよう、今後も県内外の事例を参考に研究を進めます。

問

米価下落対策と日野町農業の将来展望

問

町(国)の農業を取り巻く課題と将来展望について伺います。町の農家戸数は833戸、30年間で半数以下になりました。

今、私の集落では耕作面積の2割近くが集落居住以外の方によって耕作されており、長期にわたる米価の下落が離農の一因になっています。

①「農は国の礎」と言われるが、年々農業が衰退し、農村の崩壊が進んでいます。町として農業の展望を伺います。

②米価下落に対する町独自の支援策を伺います。

③圃場整備事業が着工され40年、畦畔や用排水路のコンクリート劣化が進んでいます。多面的機能支払交付金事業では追いつかないので経年劣化対策を伺います。

④外国産米(ミニマムアケス米)の輸入を中止・抑制すべきと考えますが、見解を伺います。

答

①地域のつながりや食糧、環境等多様な観点から持続的な発展が大切と考えています。

②収入保険新規加入者への助成、飼料米転換に対する独自支援などに対応します。

③多面的機能支払交付金(まると)事業に52団体が取り組み、1件当たり200万円未満の劣化の進行している用水路の更新等が可能です。200万円超は国の農業水路等長寿命化事業で対応します。

④WTO協定により年間77万玄米の枠内で輸入しており、市場への

影響は小さいと理解しています。



▶重機も含め、村施工で対応

▶多面的機能支払交付金事業による排水路の補修

問 必佐小学校の通学安全、防災、周辺整備は？

答 交付金などを活用しながら周辺施設等も含め整備していく



谷 成隆 議員

問

必佐小学校前道路は国からの補助金を受けて整備が進んでおり、大変ありがたい。しかし同小学校校舎は耐用年数も迫っており、耐震性が確保された改修や施設整備が必要であるが、これは必佐幼稚園も同様である。また学童保育所の定員問題、以前より放置されている学校駐車場の整備、植栽や遊具の整備等の課題にも対策が望まれている。他方、防災の観点から、避難所指定されている小学校のすぐそばを流れる出雲川の越水対策を含め、周辺一帯に長期的な視野に立った総合的な環境整備を行う必要があると思われる。そこで次の点について伺う。

- ① 必佐小学校前通学路や教育施設の早期整備を望む声が多いが町の姿勢はどうか。
- ② 周辺道路、校舎改修、幼稚園学童保育所、学校駐車場等を一体と捉えた総合環境整備を行う



必要性を感じるが、いかがか。

- ③ 小学校の植栽や遊具等の再整備も必要ではないか。
- ④ 避難所指定されている必佐小学校に隣接する出雲川の越水対策計画はあるのか。
- ⑤ 同小学校を含めた町内公共建築物の耐震性能数値を公表して欲しい。
- ⑥ 町関連施設やインフラ等に対し、今後の財政状況を見越した整理・統合などは考えているか。

答

① 国の社会資本整備総合交付金を活用し、全線完了に向け取り組んでいく。

- ② 校舎の長寿命化計画を踏まえた大規模改修をはじめ、周辺一体整備の必要性を感じる。
- ③ 植栽の剪定等、景観保全は用務員の協働作業で実施しているが、今後現場と協議していく。
- ④ 管理者である滋賀県にて都度要望をし、必要に応じ改修や浚渫に努めている。
- ⑤ 必佐小学校の耐震指数IS値は0.78、1.87であり、耐震性能を満たしている。
- ⑥ 長期的に見た今後の取り組みについては、限られた財源の中で持続可能な財源運営と規律堅持は不可欠と考えている。



道幅が狭く危険な必佐小学校前を通学する児童（町道小御門十禅師線）

問 ムダのないお金の使い方を望む わたむき自動車プロジェクト、実証実験結果は？

答 湖南サンライズの児童による通学バス実証実験は概ね良好
協力企業の通勤バス実証実験は利用量低調につき見直しを進める



山本 秀喜 議員

問

公共交通の活性化事業として「わたむき自動車プロジェクト」推進協議会が設立され、2月1日から路線バスの実証実験が始められました。このプロジェクトは、今の公共交通のあり方を見直し、誰もが利用しやすい公共交通を、みんなが利用している町「日野町」を目指し、持続可能な公共交通体系を構築していくものです。

令和3年度には、5、100万円の多額の経費をつぎ込んだ事業となりました。果たして、これだけの経費を要して、どれだけ成果が得られたのでしょうか。公共交通を再編できるデータがつかめていったのでしょうか。また、日野町の地方創生にどう位置付けできているのでしょうか。

期待が大きいものの、財政問題を抜きにしては語れない政策でもあり、今年度の進捗と財政負担について伺いました。

答

湖南サンライズからの通学バス実証実験は、多くの方のご協力を得て無事実施することが出来ました。結果は概ね前向きなご意見をいただきました。

協力企業には、健康アプリの導入をして通勤バスの実証実験を実施しましたが、結果は想定利用者数の5分1の利用で低調となり、見直しを進めていくことになりました。再編後の財政負担については、現在、滋賀県と市町において、国庫補助金の積極的な活用を議論しているところです。公共交通再編後のスタートは、3年後を目標としています。



乗車が少なかった通勤バス実証実験(桜川駅前)

問

幼稚園は定員未達、保育所は定員オーバー？
幼児教育・保育のあり方はどうあるべきか、本気で考えるとき

答 保育所の入所で不承諾通知を出した児童数は77名
早い段階で幼児教育保育のあり方懇話会を設置していく

問

令和4年度西大路幼稚園の入園予定者数が最終2名である

ことを聞かされ、園児総数は13名、日野町全体では定員540名に対し197名となりました。かたや、日野町全体の保育所への申込者数は大幅に上回り、アンバランスな状態が続いています。お子さんや保護者にとって、こうした環境は子育てしやすい町と言えるのでしょうか。

答 保育所の入所について、不承諾を通知した児童数は77名、待機児童数は3名を超えます。また、いわゆる隠れ待機児童数は40名程度になると見込んでいます。

このことは、働きながら子育てしやすい環境づくりを進めてほしいとする、子育てと就労のニーズが高くなってきたことによるものです。

私はこの問題を解決するキーワードは、幼稚園と保育所の制度を統一する「幼保一元化教育・保育」と考えており、もっと早くからこの問題に着目していく必要があったこと、本気度の足りなさと、悔やんでいるところです。

今回、入所状況、保育所の待機児童はでるのか、幼稚園で一部、一時預かり保育を導入していった理由、保育士の不足等、課題解決に向けて伺いました。

幼保一元化教育・保育を始めた経緯があり、幼児教育と家庭教育の均衡

幼稚園・保育所の入所状況(4/1現在)	運営区分	定員	予定者数	降園時間	幼稚園の一時預かりの定員は30名
日野幼稚園	公立	180名	96名	14:00(一時預かり 16時30分)	
必佐幼稚園	公立	180名	66名	14:00(一時預かり 18時00分)	
南比都佐幼稚園	公立	90名	20名	14:00	
西大路幼稚園	公立	90名	13名	14:00	
あおぞら園	公立	75名	84名	18:30	
あおぞら園鎌掛分園	公立	30名	20名	18:00	
こぼと園	公立	90名	94名	19:00	
わらべ保育園	私立	90名	87名	19:00	
第二わらべ保育園	私立	80名	81名	19:00	
桜谷こども園(短時部)	公立	30名	15名	14:00	
桜谷こども園(長時部)	公立	90名	64名	18:30	

現状調査から長時間の保育園にニーズが高いことが分かる

を図りながら検討を進めていく必要があります。保育士不足は深刻な課題であり、採用試験を早める対応を進めています。

問「自然の恵み」を地域資源にできないか？

答 自然を活かしながら保存していく
という考え方は非常に大事だ



野矢 貴之 議員

問

「自然の恵み」とは豊かで多様な生態系から生み出され続ける恩恵のことである。景観美化で自然を守ることも大事だが、「自然の恵み」を地域資源として活用・拡大させていく、長所を活かす方針で考えてはどうか。

答

（総務政策主監）
「自然の恵み」への感謝は暮らしの基本であると思うが、今は暮らしと自然が分断されている。自然との関係をあらためて意識することで、幸せを感じるようになるのでは。

（町長）
自然環境があるから、先人の歴史文化があり、現代の社会生活がある。文化財保存活用地域計画や環境基本計画策定の際などに、新しい考え方を踏まえ、愛されるまちづくりをしたい。

<自然の恵み=生態系サービス>

日野町の暮らしは豊かな自然の恩恵や影響を受けて成り立っている

①供給サービス

穀物、野菜、果実、山菜、肉、魚、木材、繊維、季節の風物詩など

②調整サービス

気候緩和、水質浄化、保水機能、土壌流出防止など

③文化サービス

文化、芸術、自然観察、食文化（湖魚、日野菜漬け、ジビエ）、工芸など

問

答 遊び活用してもらおう方が環境管理もしやすい

問

近年、河川や山林は暮らしと身近でなくなっている。河川は、溢れないように下流に流す水路扱いだ。しかし、親水公園として整備してあるところなどは、住民に活用して楽しんでもらう方が良いし、管理する側もモチベーションが保てるのではないか。

答

（建設計画課）
河川に親しみ豊かにしていく事業はあまりできていない。きっかけをつくらないと、昔のように川遊びや探検をするようにはならないのかもしれない。親水公園は、原・川原・中之郷にある。町の人に慣れ親しんでもらえると、管理しやすいと思う。

（産業建設主監）
山主さんのビジネスというより関心のない人が多く、補助金が出るから山を守りませんかというお願いをしているような状況である。公共施設から地元材を使用するようにし、幅広い施策も必要だと感じている。自伐型林業の可能性も研究していきたい。

山林は、ビジネスモデルが魅力的になっただけで、所有することを負担・負債と感じ、相続のタイミングで手放したい人が増えそうだ。愛する町の山を守るために、もっと多くの人の関心をもってもらえるよう、行政と地元商工業者が連携し地元材を循環できるような事業を展開していくべきではないのか。



季節の自然遊びって素敵やん



問 公平公正な行政執行を

答 住民の皆様との信頼関係に基づき、行政執行に努めていく



齋藤 光弘 議員



問 行政執行は、常に公平公正でなければなりません。12月定例会で取り上げた内池の住宅開発事業は、「町長が便宜供与したのではないか」という問題があります。

町長の提案に対して、議会が何らチェックしないことは、議会としての役割を果たしているとは言えません。しっかりと説明すべきであり、質問しました。



町が道路整備を決定したことで住宅開発の地区計画を決定

① 公平公正な行政執行はどうかあるべきだと考えているのですか。
② 相手とのやりとりや交渉によって許可の審査の基準や判断が変わっては、行政執行の公平公正は成り立ちませんか。町長の認識、答弁は撤回すべきではないですか。
③ 「事業者の努力」という事項は、審査にあたり、根拠は、どこにどのように規定されているのですか。

答

① 町民の皆様のご意見等を真摯に受け止めるとともに、法令遵守はもちろんのこと、住民の皆様との信頼関係に基づき、行政執行に努めていくべきだと考えています。
② 内容が変更される事例はありうるとの認識に変わりはありません。また、変更するために審査の基準や要件が都度変わることはないとの認識しており、答弁を撤回する必要はないものと考えております。
③ 町道小御門十禅師線の整備を決定したことで立地基準を満たし計画決定をしました。提案者の努力は、一つの要素ではあります。

問 小学校の教科担任制導入は

答 県教職員課に追加の配置をお願いしており、年度末人事異動の内示を期待しているところです

問 令和4年度より小学校高学年からの教科担任制導入の指針が発表されています。教科担任制によって教員の専門性、指導力を高め、子どもたちの学力向上、学校教育活動の充実や教員の負担軽減を目指すなど4つの狙いがあります。日野町はどのようになるのか、学校教育力の向上を願いました。

① 日野町の教科担任制導入はどのようになるのですか。
② 教科担任制のメリット、デメリット、課題はどうなるのですか。
③ 保護者、児童に教科担任制になることを周知されているのでしょうか。



答

① 令和4年度から実践展開ができれば、よう県教職員課に追加の配置をお願いしており、今まさに年度末人事異動の内示を待っているところです。どのように導入されるのか分かりづらいです。
② 学習内容への理解や定着が確かになり自信につながる、複数の先生に関わることで学習への意欲や関心が高まる。中学校への不安の軽減につながるなどのメリットがあります。
③ 教職員の人事配置が明らかになった時点で、それぞれの学校に適した運用の仕方を考え、保護者のみなさんや子ども達に少しずつ説明をしていきたい。

放射能汚染から住民を守る町へ

安定ヨウ素剤は役場庁舎内に保管備蓄する



池元 法子 議員

問 今議会、新年度予算に原子力災害に備えた安定ヨウ素剤の購入を計上していただきました。

しかし、万が一事故が起これば、備蓄してあるだけでは「宝の持ち腐れ」になってしまいます。

甲狀腺がんを防ぐことができるのは、事故後放射線が飛んでくるまでの2時間以内に服用することが大切です。基本、屋内避難とすると、住民に事前配布が必要です。

幼い子どもほど放射能の影響を受けやすいため、その子どもを守るために例えば、生後4カ月検診時に、医師からの説明や問診を受けて事前配布が可能となります。

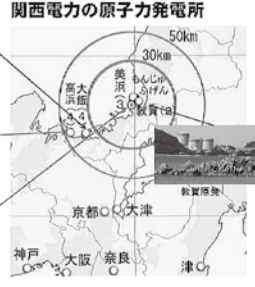
県内他市町では幼小高など教育施設に配備のところもあり、日野町では他に保育所・高齢者施設、ブルーメの丘、各公民館なども考えられます。

当局のお考えは。

答 日野町は、原子力規制委員会の「配布及び服用の必要性判断の原発30km圏」からさらに距離があり、その判断に準じて配布になると考える。

総合的に判断し、平時は役場庁舎において一定の温度で保管し、配布が必要となった場合は、住民の方などに周知を行い、医師の関与のもとで配布する。

まずはホームページや広報で周知し、配布についてはチェックリストを作成し、事故後に職員による配布を考えている。



事故後の配布に、どれだけの職員や時間が必要か検証をしていただきたい

内池地区住宅開発はモデルになる地区計画に

町道として対応すべきものと判断した

問 町道小御門十禅師線道路改良・歩道設置事業に関わる内池地区住宅開発に係る町の対応・姿勢について伺います。

私は通学路の交通安全対策の必要性を十分認識し、また住宅開発事業についても町の発展に有効であり、決して反対するものではありません。この二つの事業は、通常のルールに基づいて実施できるはずですが。

①素案はほぼ運用基準に沿ったものであったが、一年後の原案は、開発区域が不自然に町道沿いを除く、道路幅員は6m確保せず、調整池も設置しない、町の運用基準を満たさない計画と後退するものでした。様変わりしたのはなぜですか。

答 ①地域の諸事情により変更されたもの。変更が計画の後退であるとの認識はない。

②交通状況、安全対策の要望と、整備により町が必要と判断する地区計画の立地基準を満たすことから町が整備することを決定。道路整備が開発業者の必要要件であれば業者がすべきものと考えますが、町として対応すべきものと判断し、業者から確約書を得ています。



◀ 必佐小グラウンド付近



本来の議会の役割は、行政施策が公平公正に行われているかどうかをチェックすることも必要



町長提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	*杉浦
町道の路線の変更（1議案）														
町道の路線の変更 町道北脇杣線道路改良工事の完了に伴い、当該路線の終点を変更	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
補正予算（6議案） 関連記事2ページ														
令和3年度一般会計（第10号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
国民健康保険特別会計（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
農業集落排水事業特別会計（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
介護保険特別会計（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
後期高齢者医療特別会計（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
令和4年度一般会計（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
令和4年度当初予算（9議案） 関連記事2～3ページ														
一般会計予算	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	/
国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
簡易水道特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
西山財産区会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
下水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

議員提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	*杉浦
決議（1件）														
ロシア連邦によるウクライナ侵攻に抗議する緊急決議 ▽提出者：後藤勇樹議員 23ページに掲載	決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
請願の審査（1件）														
名神名阪連絡道路建設についての請願書 ▽請願団体：日野第二工業団地企業協議会 会長 大橋 一徳氏 ▽紹介議員：後藤勇樹議員、高橋源三郎議員	採択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	/
意見書の決議（1件）														
名神名阪連絡道路の建設促進を求める意見書 ▽提出者：後藤勇樹議員 ▽賛成者：谷成隆議員	決議	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	/

意見書決議の内容は、日野町ホームページ（議会）をご覧ください。か議会事務局までお問合せ下さい。

提出された議案と結果

○賛成 ×反対

第1回臨時会（2月2日開催）

町長提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	*杉浦
条例の制定・一部改正（1議案）														
日野町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例（一部改正） 公的給付の支給に関する事務における個人番号の利用および特定個人情報の提供について定めるための条例改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
補正予算（1議案）														
一般会計（第9号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

第2回定例会（3月1日～28日）

町長提出議案	結果	野矢	山本	高橋	加藤	後藤	奥平	山田	谷	中西	齋藤	西澤	池元	*杉浦
人 事（5議案）														
日野町情報公開・個人情報保護審査会委員(委嘱) 伊藤慧氏（大津市・再任）、石塚武志氏(京都市・再任)、 本多滝夫氏（大津市・再任）、井上順子氏（原・再任）、 瀧井恭子氏（大窪・再任）	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
条例の制定・一部改正（7議案）														
日野町情報システム整備基金条例（制定） 情報システムの安定的な運用を図るための基金を新設する 条例制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町子育て未来基金条例（制定） 子育て支援にかかる施設の計画的な整備および子どもを安心して育てることができる施策の充実を図るための基金を 新設する条例制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町地区計画の区域内における建築物の制限に関する 条例（制定） 市街化調整区域の地区計画の区域のうち地区整備計画が定められている区域における建物に関する制限を定める条例 制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町職員の育児休業等に関する条例（一部改正） 日野町職員の妊娠、出産、育児等と仕事の両立支援を図る ための条例改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する 条例（一部改正） 消防団員の処遇改善等を図るための条例改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町消防団員等公務災害補償条例（一部改正） 年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する 法律の制定公布に伴う条例改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/
日野町会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する 条例（一部改正）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/

*議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否同数のみ「議長採決」として表明します。

小学6年生が描くまちの未来

「日野のまちづくりを 小学6年生がプレゼンテーション

日野町内の小学6年生が国語の授業で「町の幸福論—コミュニティデザインを考える」を学び、学校ごとに成果発表がおこなわれました。（南比都佐小、日野小は前号で掲載）

理想の将来像を設定して現在の課題を明確にし、参考事例から導き出された解決策のプレゼンテーションには、内容・プロセス共にとても感心させられました。

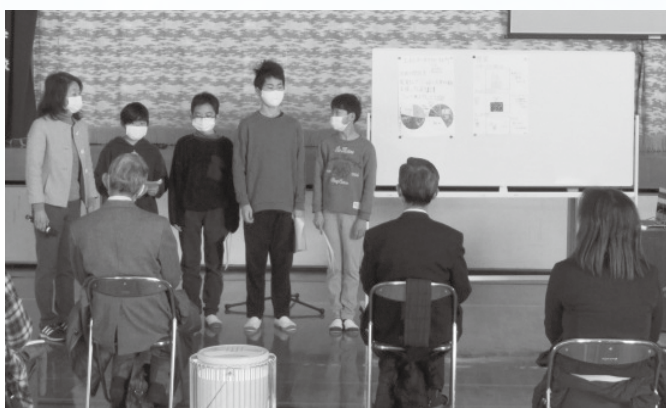
「こんな日野町になったら」桜谷小6年生（2月1日 桜谷小体育館）

桜谷小学校では、「こんな日野町になったら」と題して体育館での発表となりました。

会場を生かして、模造紙に手書きの資料を出す班、プロジェクター利用の班など工夫の跡が見られました。

テーマや手法も画一的でなく、環境問題、人権、SDGsなど多岐にわたりました。中学生にアンケートを取ったり、オリジナルのロゴマークをつくったり、さらにはゴミ拾いの参加者には商品券を交換するなど、身近ですぐにでも実現可能なアイデアもあって、小学生ののびのびとした発想に大人も学ぶところの多いものでした。

なお、このプレゼンは学習を引き継ぐという意味で、5年生もリハーサル発表を見学しました。



「将来のふるさと」西大路小6年生（3月7日 日野町役場議場）

西大路小6年生は、「将来のふるさと」と題して議場での発表となりました。



テーマは、人口減少や空き家問題、少子高齢化、観光、交通の便など、今まさに大人が町の課題であると感じていることに着目してくれました。

観光面では「言語のバリアフリー化を進めパンフレットや看板の表示を多言語にする」や、空き家対策では「空き家をデイサービスセンターに作り替え、その作業自体をDIYイベントにする」といった、まちづくりアイデアが提案されました。

また、この企画は保護者の方も傍聴席で見学いただくという、議場に足を運んでいただく貴重な機会にしてくださいました。

ロシア連邦によるウクライナ侵攻に抗議する緊急決議

ロシア連邦は、去る令和4年2月24日にウクライナへの軍事力による侵略行為を開始し、一般市民を含め多数の死傷者が出ている。

武力によるロシア連邦の攻撃はウクライナへの重大な主権侵害であり、国際社会ひいては我が国の平和と秩序、安全を脅かし、かつ明らかに国連憲章に違反する行為であり、断じて容認することはできない。

また、ロシア連邦のプーチン大統領は、今回のウクライナ侵略に際し、戦略核兵器の使用をちらつかせることでウクライナのみならず、世界の自由民主主義陣営をも威嚇しているが、このような行為は、かつてソビエト社会主義共和国連邦のフルシチョフ第1書記がアメリカ合衆国大使に「西側は我々の核ミサイルが欧州全体を破壊できることを忘れていたのだ」と語った姿を彷彿とさせる。プーチン大統領のこのような姿勢は、昭和59年に「非核日野町宣言」を行い、また昨年3月定例会にて「核兵器禁止条約」への署名・批准を求める意見書決議」を採択した我が日野町議会としては、到底許しがたいものである。

よって、日野町議会は、ロシア連邦によるウクライナへの攻撃や主権侵害に対し厳重に抗議の意を表するとともに、ロシア連邦軍を完全かつ無条件で即時にウクライナから撤退させるよう、国際法に基づく誠意を持った対応を強く求める。また、政府におかれては、関係各国及び国際社会との緊密な連携のもと厳格かつ適切な対応を講じられるよう、強く求める。

以上、決議する。

6月定例会(本会議)のお知らせ(予定)

- 6月2日(開会・提案説明) ・14日(質疑) ・15日(一般質問)
- 16日(一般質問) ・27日(採決閉会)

議長コラム



議長 杉浦和人
難しい課題の
解決へ一歩一歩

3月定例議会では町道小御門十禅師線の歩道整備事業について、12月定例議会でも設計費予算1000万円に反対された議員が今回の追加補正予算600万円に賛成され大きな進展がありました。小学校周辺の歩道整備については国の定めた基準が用いられ、危険の度合い、通学の児童数や交通量、PTAの要望、用地確保が容易などをもとに決定されることになっていきます。当該道路は基準に照らし合わせると一日も早い安全対策を講じる必要性がありました。

しかしながら、前町政時代には道路幅員と通学時には交通混雑が認められるものの家が建て込んでいる箇所や橋梁や踏切などの状況から道路拡幅は難しいとの考え方を示しており、地元負担金も10%必要となるなど政策の実現に困難がつきまわりました。今回は現町政の努力により児童の安全を最優先に議論を進め、社会資本整備総合交付金95%の採択が認められたため以前よりも負担を軽減することが可能となりました。虚偽報告や政策について誤解をされていた議員も子どもたちの安全第一に理解を示され、住民の難題解決に向けて一歩前進したところであります。

住民の要望実現は議員全員の願いであり、これからも議員一丸となって課題の解決に取り組んでいきたいところです。

報 計

元日野町議会議長
奥村 嘉三 様
令和4年3月3日ご逝去
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

ロシアのウクライナへの侵攻が始まり世界情勢の不安が付きまといまいます。コロナ禍の収束も完全とはいかず懸念がつづくところです。

今後、日常生活においても、それらの影響があらゆる場面で波及することが予見されます。

課題や不安の声を行政に伝え、解決に向け活動することも二元代表の議会の役割です。どの議員を問わず、いつでもご相談とお声かけをお願いします。かの地に於いての戦火も心が痛みます。争いの収束と犠牲が少なくなる事を祈るばかりです。

(谷 成隆)

議会 広報常任委員会

- 委員長 高橋源三郎
- 副委員長 山本 秀喜
- 委員 野矢 貴之
- 委員 加藤 和幸
- 委員 後藤 勇樹
- 委員 谷 成隆
- 委員 齋藤 光弘

日野に伝わる 地域の祭りや 催しを紹介

日野の町を写真で紹介するコーナーとして、
第18号では「春祭り」に焦点を当て紹介します。
(掲載している写真はコロナ禍前の写真であり、コロナ禍
では縮小されている祭りもあります。)

日野祭



5月3日

豪華に飾られた3基の神輿と十数基の曳山が、祭囃子に合わせて繰り出し馬見岡綿向神社へと向かいます。湖東地方を代表する春祭りで800年以上の伝統があり、県の無形民俗文化財に指定されています。

南山王祭



4月4日

大窪清雲町にある日枝神社で行われる春祭りは、桜の花に勝るとも劣らぬ「ほいのぼり」と呼ばれる日野特有の「のぼり」が境内いっぱいに立てられ、華やかに彩る様子は春のムードいっぱいの祭りです。

日野 ひなまつり 紀行



2月上旬～
3月上旬

令和4年は2月6日から3月6日まで開催され、町内外からもたくさんの観光客が訪れ、江戸時代から現代に至るお雛さまに彩られた日野の街角を、多くの方が満喫されました。

賀川神社の お渡り



4月の
第2土曜日

安部居・鳥居平・奥之池・佐久良の4地域で、安全と繁栄を願って行われる祭りです。渡御は賀川神社から立居神社まで行列がなされ、昔はその道中にある佐久良川をどうしても渡らねばなりませんでした。

どんじょ 祭り



4月の
第3日曜日

その年の豊作を祈願して行われる蓮花寺・白髭神社の春祭りです。氏子が一堂に会し「どんじょ汁」と「五菜汁」をいただいた後「高砂」の謡が披露され、「こども相撲」の奉納が行われる珍しい祭りです。

弓取り 神事



成人の日

毎年成人の日、大字熊野にある熊野神社で「お祈り」(弓取り神事)が行われています。境内の鳥居の向こうにある「おろち塚」の的に向かって36本の矢が射られる。日野の民俗学上重要な祭りの1つとされています。

日野町議会広報

日野町議会 議会だより

◆発行/日野町議会 ◆編集/議会広報常任委員会

〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地

☎0748-52-6551 Fax0748-52-2044

ホームページ<http://www.town.shiga-hino.lg.jp> メールgikai@town.shiga-hino.lg.jp

「議会だより」に関するご意見募集中！書式は問いません。郵送・e-mailまたは議会事務局までご持参願います。